

2. 来賓挨拶 石田祝稔農林水産副大臣

ご紹介いただきました農林水産副大臣の石田祝稔でございます。今日はちょっと花粉症で、声がおかしいかもしれませんがお許しをいただきたいと思えます。全国地産地消推進フォーラム2009の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに本日ご出席くださいました皆様、そして本フォーラムの開催のためにご尽力いただきました地産地消推進協議会の小泉会長をはじめとする関係者の皆様方に感謝申し上げますとともに、地産地消優良活動表彰において、授賞される皆様方に心からお祝いを申し上げます。皆様の取り組みは、それぞれの地域の特徴を生かした地産地消の代表例というべきものであり、本日このように一堂に会すことができましたことは、まことに喜ばしいことと存じます。

さて、地産地消の取り組みは地域の生産者と消費者を結びつけ、顔がみえ、話ができる関係を築くものであり、国産の農産物に対する信頼の醸成や食料自給率の向上に貢献するものとして期待されています。また農産物直売所の活用により高齢者や小規模農家にとっても農産物の販売が容易になり、所得確保の機会を創出したり、農産物直売所や地場農産物加工施設の運営が地域の雇用を生み出したりするなど、地域農業の活性化にもつながるものと考えています。さらに地産地消は農産物の輸送距離の短縮によって、二酸化炭素の排出量の削減にも寄与する取り組みとして、その推進が一層重要視されています。

農林水産省といたしましても、この地産地消の取り組みがますます活発に行われるよう、農産物直売所の整備や、地域の特色を生かした少量多品目の生産流通体制づくりを支援しております。加えて農業と商工業等との産業間の連携、いわゆる農商工連携による地産地消の推進が図られており、また本年4月に施行される改正学校給食法においても栄養教諭の指導にあたって、地域の産物を学校給食に活用することに努めるとされたところであり、今後とも経済産業省や文部科学省など関係省とも連携して地産地消の推進に積極的に取り組んでまいります。

本日表彰を受けられるかたがたをはじめとして、各地域において地産地消の推進に取り組んでいるかたがたにご参集いただき、すぐれた取り組みを学び、地産地消の推進に関する知見等を共有できることは、各地の地産地消の取り組みをみつめ直し、さらにこれらを強力に推進するうえで重要な機会であると考えております。

本フォーラムの成功を契機に、地産地消の活動がさらに広がっていくことを期待するとともに、本日お集まりの皆様方のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。皆様今日は大変にご苦労さまでございます。おめでとうございます。

平成21年3月2日

農林水産副大臣 石田 祝稔